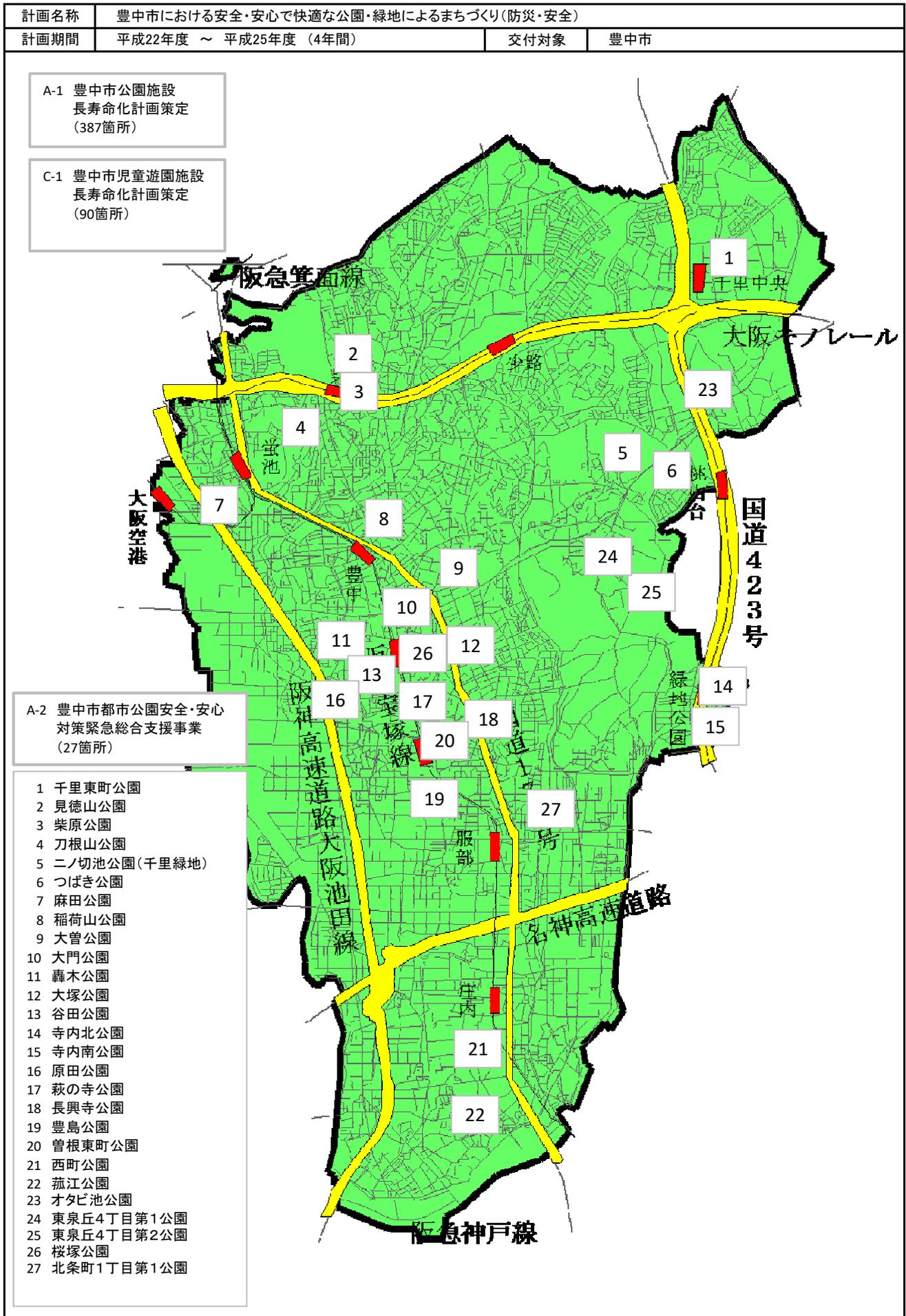


社会資本総合整備計画

平成25年(2013年) 2月26日

計画の名称	豊中市における安全・安心で快適な公園・緑地によるまちづくり(防災・安全)														
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)					交付対象	豊中市								
計画の目標	豊中市においては、近い将来開設後30年以上経過する公園が全体の半数を占めることになり、同時に公園施設も一斉に老朽化を迎え、安全・安心のためにも対応を迫られることになる。このことから豊中市では、公園施設長寿命化計画を策定することにより、効率的・効果的な公園施設の改築・更新、バリアフリー化を進め、快適な公園・緑地づくりを推進する。														
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設の改築・更新を実施し、安全性・快適性が向上した公園の割合 : 0%(平成22年度) → 4%(平成25年度末)</li> <li>出入口と主要な施設を結ぶ園路及び広場がバリアフリー化された公園の割合 28%(平成22年度) → 34%(平成25年度末)</li> <li>便所がバリアフリー化された公園の割合 9%(平成22年度) → 48%(平成25年度末)</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考				
								当初現況値	中間目標値	最終目標値					
								(H22当初)	(H23末)	(H25末)					
	公園施設の改築・更新を実施した公園の数 / 公園施設の改築・更新が必要な公園の数							0%	1%	4%					
	出入口と主要な施設を結ぶ園路及び広場がバリアフリー化された公園の数 / 園路及び広場がある公園数							28%	31%	34%					
	便所がバリアフリー化された公園の数 / 便所がある公園数							9%	21%	48%					
全体事業費	合計(A+B+C)	210百万円	A	200百万円	B	0百万円	C	10百万円	効果促進事業の割合 C/(A+B+C)	5%					
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25			
1-A-1	公園	一般	豊中市	直接	豊中市	豊中市公園施設長寿命化計画策定	計画策定 387箇所	豊中市						44	
1-A-2	公園	一般	豊中市	直接	豊中市	豊中市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設更新、バリアフリー化等 27箇所	豊中市						156	
										合計	200				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25			
1-C-1	計画策定	一般	豊中市	直接	豊中市	豊中市児童遊園施設長寿命化計画策定	計画策定 90箇所	豊中市						10	
										合計	10				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														
1-C-1	都市公園と同様の利用形態である児童遊園について、都市公園と同レベルでの維持管理をめざす。														

(参考図面)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 豊中市における安全・安心で快適な公園・緑地によるまちづくり(防災・安全) 事業主体名: 豊中市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針との適合等	
1) 都市公園における遊具の安全確保に関する指針と適合している。	○
2) 移動等円滑化の促進に関する基本方針と適合している。	○
3) 上位計画(豊中市総合計画)等と整合性が確保されている。	○
②関連分野との整合	
1) 豊中市次世代育成支援行動計画の施策としても位置付けられている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
2) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 特定計画として国土交通大臣の同意を得ている。	○
2) 事業熟度が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 事業実施を阻害する課題・問題点はない。	○